



長照寺だより

わげんあいご 和顔愛語

浄土真宗本願寺派(西本願寺) 摂取山 長照寺 静岡県三島市徳倉1195-817 電話055-988-4242
URL <http://cyoshoji.or.jp> E-mail: info@cyoshoji.or.jp



仏前結婚式「久原宗仁君・詩子さん」
(平成18年11月25日)



秋季彼岸会 (平成18年9月23日)



長照寺文化展「末広和顔会展」
(平成18年10月14日～15日)



ご正忌報恩講 (平成19年1月12日～13日)
※本山(西本願寺)

「今日という日はないものと思いなさい」と蓮如上人は仰せになりました。

上人はどのようなことでも急いでおかたづけになり、長々と時間をかけることをおきらいになりました。そして仏法を聞く身となった上は明日のことも今日するように急ぐことをおほめになったのです。(蓮如上人御一代記聞書より)



仏前結婚式を挙げて

久原 宗仁
詩子

昨年十一月二五日、雄大な富士が眼前に広がる晴天のなか、私たちは菩提寺であるこの長照寺において結婚式を挙げる事ができました。このことはご住職をはじめ皆様方のおかげであります。私たち両家一同深くお礼申し上げます。

こうしてすばらしい結婚式を挙げさせてもらい今思うことは、ご縁とは、かくも有難く尊いものであるということであります。それは幼少の頃、ご住職のお兄様である土山様がボーイスカウト活動を行っていらつしやり、大仁一団の隊員であった私を亡き祖父との関係に結んで戴き、久原家が長照寺の門徒として門信徒会に入会致したのが出発でした。それからというものご住職と坊守様は常に私をかわいがっていただき、暖かく支援してくださいました。

私がこうして一社会人となれたのもお寺を介した人間関係のおかげであると感じ入る次第です。

ボーイスカウトの先輩であり執事の藤沢様に聞き及んでいました通り、結婚式は荘厳でかつ和やかな雰囲気のものでありました。阿弥陀様のお前で緊張しつつ誓った言葉は、今後我が身を振り返る際に思い出し、生活の糧にしていきたいと考えております。



お幸せに！

雰囲気是和やかであったのは参列して下さった皆様方の笑顔がそうさせたのだと思います。それに加え、喜ばしいことに妻詩子の職場である三島市立東幼稚園の園児達がお祝いに駆けつけてくれました。社会一般的に思われているお寺のイメージとは異なる、私たちの思い描く長照寺らしさ、言い換えると長照寺の賑やかさのなかで式を終えられたことも忘れられないものとなりました。

まだまだ出発地点に立ったばかりの未熟な私たちではありますが、誓いの言葉を思い出し、二人力を合わせ何事にも挑戦していこうと思っております。また長照寺青年部として勉強させていただき少しでもお寺のために助力できたらと思うところであります。ありがとうございました。

第十三回世界仏教婦人会大会

ハワイ・ホノルル（平成十八年九月一日〜六日）

執事 藤澤直樹



平成十八年九月一日、首都高の事故渋滞にはまり、少しヒヤリとしたながら四泊六日の海外（ハワイ・ホノルル）研修旅行が始まりました。

約七時間の空路を経て、常夏の国ハワイ（ホノルル）に到着。現地の墓地（文化の違いか、代々家族間で受け継がれるのとは違い夫婦間に入るそうです。ん？結婚されない方はどうなるのでしょうか。）、やはりハワイといったらこの像でしょう、「カメハメハ像」を足早に見学しながら、真っ白な建物「ハワイ・ホノルル別院」へ参拝しました。当然といえば当然ですが、お経本にはローマ字でフリガナがふつてあり更に横書き。こんなところでも外国に



来たのだなと感じながら、ハワイ初日は過ぎていきました。そうそう余談ですが、アメリカでは車のナンバープレートは、州ごとによつて、その州の文化、建築物、動物、自然などが描かれているらしく、ハワイでは毎日どこかに出現する「虹」が描かれていました。（うーん、なんて洒落ているのでしょうか。ちなみに日本でこの制度が導入されたら「伊豆」「沼津」ナンバーは何を描くのでしょうか。）

二日目・三日目は本研修旅行の真の目的、ハワイコンベンションセンターで行われた、「第十三回世界仏教婦人会大会」へ参加してきました。（これを読まれている皆さん。ただハワイに旅行しに行つてきたわけではありませぬよ！）御裏方様ご臨席のなか、約4千

人の各国の門信徒がこの二日間の大会に参加し、基調講演・体験発表や、他国の方との交流夕食会。また、参加者それぞれがハワイの文化に触れるワークショップ（ククイナツツの腕輪作りやフラダンスの体験、ハワイの歌の合唱等。ちなみに私はハワイの子供のアロハ歌でした。）、世界各国の余興など盛り沢山の大会でした。

中でも、体験発表では各国開教使の先生方の話を聞き、言葉や文化の全く異なる国における布教活動の御苦労をそれぞれ聞かせていただき、私も寺院に勤める者として、身の引き締まる思いでした。そして最後は、御裏方様の作詞されました、「ほほえみとともに」を参加者全員で合掌し、大会を終えました。

さてさて、これからは帰国までの間、しばしの観光です。大会終了日三日目の夜はナイトクルーズへ。旅行会社の計らいで、なんとファイブスター（五つ星）のコースです。ホテルから船までリムジンで送り迎え。船では長蛇の列を横目に見ながら別ルートにての乗



船。シャンパンで迎えられるもちろん食事も最高のおもてなし。優雅にサンセットを見ながら、至れり尽くせりの素晴らしく豪華なクルージングを味わってきました。

四日目はオアフ島内バースツアーです。島内の名所を見学したり、レイ作

りをしたりパイナップルを食べたりオアフ島を満喫してきました。とりわけ真珠湾のアリゾナ記念館では、当時の凄惨さを垣間見ることが出来、改めてこのようなことを二度と繰り返してはならないと、痛感しました。

その後、この旅最後の夕食です。ホテル近くの鉄板焼き屋さんで現地の方が調理してくれるのですが、まあパフォーマンスもあるのでしようが、随分と調理の仕方が日本と違うのです（異常なほどへらを駆使し、カチャカチャ音をたて振舞うのです）。日本人以外の方が見たら、日本の鉄板焼きというものは、こういったものなのかと、誤解を招きかねないかもと、要らぬ心配をしながら戴きました。

そして帰国の日、五日目。朝から空港へ向かい、昼過ぎにはハワイを発ちいざ日本へ。四泊六日の海外研修旅行は無事(?)終えることができました。不束なツアーコンダクターでしたが、ご一緒くださった皆さんのおかげで、私はハワイのアロハ精神の素晴らしさ（ハワイ島民の方々はアロハの挨拶を交わすとき、右手(どちらでもいいのですが)で親指と小指を立てサインを送ります。なんとそのサインを「釈迦サイン」というそうです。日系の方々が流行らせたと聞き驚きました。)、風土の素晴らしさを知ることの出来た、非常に記憶に残る研修旅行となりました。皆さん本当にありがとうございました。



アロハ

活動報告

平成十八年下期

境内清掃作業・親睦懇親会

平成十八年
七月二十三日

六〇余名

大汗をかいた後のビールがとても美味しかった
事でしょう。

合同盆法要(計八回)

平成十八年
八月十三日～十六日

一八三家族 五六〇名

ご先祖様曰く「皆が元気でうれしう、これか
らも頑張つて楽しく生きてほしいな」……。

第13回世界仏教婦人会大会

平成十八年
九月一日～六日

「アロハ」の挨拶が気持ちいい。

秋季彼岸会

平成十八年
九月二十三日

「〇〇の秋」私は食欲の秋といきたいですね。
ご先祖様ありがとうございます。

文化発表会

平成十八年
十月十四日～十五日

もしかして、プロ(玄人)集団ですか？

初参式「園田夏希ちゃん」

平成十八年
十月二十一日

「生まれてきてよかった」と阿弥陀様に報告。
お母さん、お父さんの喜びは如何ばかりか。

親睦ゴルフコンペ

平成十八年
十月二十七日

場 所 富士箱根CC
参加者 三十二名
優 勝 三須達男さん

ナイス・チョット、砂場遊びも楽しいよ!!

報 恩 講

平成十八年
十一月十九日

一三〇余名

一年に二度最も大切な法要です。親鸞聖人を
偲び、生きる「力」をいただきます。

仏前結婚式

平成十八年
十一月二十五日

当山第三号の結婚式で、住職も大喜び
阿弥陀様とご先祖様の前で誓う。あたりまえ
ちゃん。

境内清掃作業

平成十八年
十二月三日

七〇余名
新しい年を迎えるにあたり感謝感謝。

除夜会

平成十八年
十二月三十一日

百八ツばかりの煩惱ではないことを知り、これ
からは少しずつ出していきます。

修正会及び新年会

平成十九年
一月四日

心も新たに出発。今年こそはと毎年思っている
自分がいた。

ご正忌報恩講

平成十九年
一月十二日～十三日

深々と冷える京都のご本山(西本願寺)参拝。
身が引き締まりました。

今後の活動予定

2月10日～11日	第27回東京教区仏教壮年会 連盟結成記念日研修会	熱海
2月11日(日)	寺報(第17号)発行	
3月21日(水)	春季彼岸会法要	本堂
4月8日(日)	祝入学・入学慶讃法要・ 釈迦降誕・花祭り 門信徒お花見会	本堂 境内
4月12日(木)	門信徒親睦会(ゴルフコンペ)	未定
4月22日(日)	門信徒親睦会ボウリング大会	ジョイランドみしま
5月 日()	門信徒会定期総会	本堂
6月・日(・)	門信徒会親睦研修旅行	方面
5月 日()	静岡東組組会・総代研修会	未定
7月8日(日)	寺報(第18号)発行	

※各行事は、予定ですので、その都度、寺から案内を送付します。
※定例法座は毎月第1土曜日 午後7時より本堂にて開催。
※その他に親睦の集いを募集・計画中。

日頃の忙しさから解放されて
気持ちが軽くなる自分を発見
できるかもしれません。

つね、つね、つね

住職記

昨年、暮、神妙な顔をしてA氏が来寺。何事が起きたのかの思いで話を聞き始めました。A氏曰く「実は私が死んだらこうして欲しい、ああして欲しい。」との願いを、表にしたりしながら、お寺・葬儀社・組内、はたまた救急隊員にまで寄せる気持ち等。そして最後にご自分の心を全てさらけ出されたのでした。

長照寺がお寺としての諸行事を催し、仏事に関わるお勤めをするようになって十八年。こんなに驚かされた事はありませんでした。確かに常日頃から「何かありましたらまずお寺へ」と言ってはいましたが、これ程微に細に相談された事はなかったのです。

しかしよく考えてみれば、現在の葬儀の有様を憂えて、わが身の事に置き換えれば、このようにちやんとしておきたいと言いう気持ちになられても、何の不思議はないと感じました。本当に真剣でした。そこで、住職として「大丈夫。お寺にまかせておけば、Aさんの思い通りに致します。」と約束をした事でした。

では、A氏の思いをここに紹介いたします。

①

が死んだら
-- 着手 平成 年 月 日付けの見積依頼

1 子供達に連絡	別紙名簿にて	
2 長照寺にお願い	電話：055-988-4242 住所：三島市徳倉1195-817	
3 葬儀屋は長照寺より手配願う「葬儀屋関係 別紙」		円
4 お寺関係		円
通夜・告別式会場代		円
通夜・告別式直会会場代(宿泊等 名分含む)		円
臨終動行(タクシーにて依頼後日清算致します)	お布施	円
告別式経		円
初七日経		円
出棺経		円
火葬場にての経(お車手配致します)		円
埋葬経		円
小計		円
合計		円

④

医師 及び 医療関係者へ

私 は、死に際して、自然に逆らわず、安らかな死に方を自分自身で選び人間らしく死ぬことを主張致します。

私の病が治る見込みがなく、死期が迫っている場合には、ただ延命の目的だけの延命措置は一切行わないで下さい。

また、苦痛を和らげるための治療は最大限実施して下さい。このことで、死期が早まっても構いません。

私が植物状態に移行した場合は、生命維持装置を取り外して下さい。この宣言に従って実施された行為の責任はすべて私自身にあります。

この宣言書は、私の精神が健全な状態にあるときに自署し、署名捺印したものであることを証します。

年 月 日

年 月 日生

⑤

各位 喪主

の葬儀日程等のお知らせ

年 月 日 時 分 自宅にて 等にて死亡

自宅からの出棺 月 日() 時 分 頃

通夜 月 日() 時 分 場所 長照寺
三島市徳倉1195-817
電話 055-988-4242

直会 通夜終了後引続き 場所 同上

告別式 月 日() 時 分 場所 同上

出棺経 時 分

火葬経 時 分 場所 斎場

納骨経 時 分 場所 長照寺
三島市徳倉1195-817
電話 055-988-4242

直会 時 分 場所 同上

②

長照寺へのお願い 年 月 日付けの見積依頼

葬儀関係	単価	数量	費用額
① 自宅の見舞い者に対しての、洗香台等一式の設置(遠くがら)			円
② 死亡届け等の依頼(死亡診断書を1通渡す。市役所にて)			円
火葬・埋葬証明書等の申請・交付を依頼する。			円
③ 指巻一式			円
④ 祭壇等一式			円
⑤ 通夜関係			円
A 交通整理要員	円	名	円
B 受付要員	円	名	円
C 会葬御礼関係			円
1) 札状	円	枚	円
2) お返し物	円	個	円
3) 一般会葬者へ(ビール・ジュース)	円	個	円
D 直会(親族を含め 名)			円
1) 蒸し(人分盛り合せ)	円	個	円
2) ビール(中ビン)	円	本	円
3) ジュース類	円	本	円
4) つまみ物(人分盛り合せ)	円	盛	円
5) 接待要員	円	名	円
告別式関係			円
A 交通整理要員	円	名	円
B 受付要員	円	名	円
C 会葬御礼関係			円
1) 札状	通夜と同一		円
2) お返し物	円	個	円
D 初七日			円
1) 初七日のお膳		式	円
E 斎場関係(親族を含め 名)			円
1) 火葬代	円		円
2) 火葬所控室料	円		円
3) 霊柩車(指用)	円	台	円
4) 霊柩車(会葬者用)	円	台	円
5) お弁当	円	名	円
6) 缶ビール(350cc)	円	本	円
7) ジュース類	円	本	円
8) つまみ物(人分盛り合せ)	円	盛	円
9) 接待要員	円	名	円
直会(親族を含め 名)			円
1) お弁当	円	個	円
2) ビール(中ビン)	円	本	円
3) ジュース類	円	本	円
4) つまみ物(人分盛り合せ)	円	盛	円
5) 接待要員	円	名	円
計			円

③

医師・救急隊員等の関係者へ

私 は医師・救急隊員等の関係者に多大なご迷惑をお掛け致しますがお許し願います。

医師・救急隊員等の関係者をお呼び致したのは、家族関係者が適切な医療行為の責任を問わないためです。

私 は、一切の心肺蘇生等の医療行為を希望しないし、その医療行為を固く断る。

その理由 年 月 時点 歳 月余の人生を過ごしました、因って、自然死を切望する。

私 は、自力で食べ物・飲み物等を飲み込みなかつた場合、注射・管等の機器を使った医療行為を希望しないし、その医療行為を固く断る。

その理由 年 月 時点 歳 月余の人生を過ごしました、因って、自然死を切望する。

私 は、上記の結果、痛み・食べ物等の要求に、本人・家族の者等、精神的苦痛等を与えることを避け、眠り薬・鎮痛剤を大量に与えて戴きたい。その結果死期が早まることを強く希望する。

年 月 日

(A氏が届けて下さった資料ですがこの表が全てではありません)

つね、つね、つね

住職記

昨年、暮、神妙な顔をしてA氏が来寺。何事が起きたのかの思いで話を聞き始めました。A氏曰く「実は私が死んだらこうして欲しい、ああして欲しい。」との願いを、表にしたりしながら、お寺・葬儀社・組内、はたまた救急隊員にまで寄せる気持ち等。そして最後にご自分の心を全てさらけ出されたのでした。

長照寺がお寺としての諸行事を催し、仏事に関わるお勤めをするようになって十八年。こんなに驚かされた事はありませんでした。確かに常日頃から「何かありましたらまずお寺へ」と言っはてはいましたが、これ程微に細に相談された事はなかったのです。

しかしよく考えてみれば、現在の葬儀の有様を憂えて、わが身の事に置き換えれば、このようにちやんとしておきたいと言ふ気持ちになられても、何の不思議はないと感じました。本当に真剣でした。そこで、住職として「大丈夫。お寺にまかせておけば、Aさんの思い通りに致します。」と約束をした事でした。

では、A氏の思いをここに紹介いたします。

①

が死んだら
-- 着手 平成 年 月 日付けの見積依頼

1 子供達に連絡	別紙名簿にて	
2 長照寺にお願い	電話：055-988-4242 住所：三島市徳倉1195-817	
3 葬儀屋は長照寺より手配願う「葬儀屋関係 別紙」		円
4 お寺関係		円
通夜・告別式会場代		円
通夜・告別式直会会場代(宿泊等 名分含む)		円
臨終動行(タクシーにて依頼後日清算致します)	お布施	円
告別式経		円
初七日経		円
出棺経		円
火葬場にての経(お車手配致します)		円
埋葬経		円
小計		円
合計		円

④

医師 及び 医療関係者へ

私 は、死に際して、自然に逆らわず、安らかな死に方を自分自身で選び人間らしく死ぬことを主張致します。

私の病が治る見込みがなく、死期が迫っている場合には、ただ延命の目的だけの延命措置は一切行わないで下さい。

また、苦痛を和らげるための治療は最大限実施して下さい。このことで、死期が早まっても構いません。

私が植物状態に移行した場合は、生命維持装置を取り外して下さい。この宣言に従って実施された行為の責任はすべて私自身にあります。

この宣言書は、私の精神が健全な状態にあるときに自署し、署名捺印したものであることを証します。

年 月 日

年 月 日生

⑤

各位 喪主

の葬儀日程等のお知らせ

年 月 日 時 分 自宅にて 等にて死亡

自宅からの出棺 月 日() 時 分 頃

通夜 月 日() 時 分 場所 長照寺
三島市徳倉1195-817
電話 055-988-4242

直会 通夜終了後引続き 場所 同上

告別式 月 日() 時 分 場所 同上

出棺経 時 分

火葬経 時 分 場所 斎場

納骨経 時 分 場所 長照寺
三島市徳倉1195-817
電話 055-988-4242

直会 時 分 場所 同上

②

長照寺へお願い 年 月 日付けの見積依頼

葬儀関係	単価	数量	費用額
① 自宅の見舞い者に対しての、洗香台等一式の設置(遠くがら)			円
② 死亡届け等の依頼(死亡診断書を1通渡す。市役所にて)			円
火葬・埋葬証明書等の申請・交付を依頼する。			円
③ 指巻一式			円
④ 祭壇等一式			円
⑤ 通夜関係			円
A 交通整理要員	円	名	円
B 受付要員	円	名	円
C 会葬御礼関係			円
1) 札状	円	枚	円
2) お返し物	円	個	円
3) 一般会葬者へ(ビール・ジュース)	円	個	円
D 直会(親族を含め 名)			円
1) 蒸し(人分盛り合せ)	円	個	円
2) ビール(中ビン)	円	本	円
3) ジュース類	円	本	円
4) つまみ物(人分盛り合せ)	円	盛	円
5) 接待要員	円	名	円
告別式関係			円
A 交通整理要員	円	名	円
B 受付要員	円	名	円
C 会葬御礼関係			円
1) 札状	通夜と同一		円
2) お返し物	円	個	円
D 初七日			円
1) 初七日のお膳		式	円
E 斎場関係(親族を含め 名)			円
1) 火葬代	円		円
2) 火葬所控室料	円		円
3) 霊柩車(指用)	円	台	円
4) 霊柩車(会葬者用)	円	台	円
5) お弁当	円	名	円
6) 缶ビール(350cc)	円	本	円
7) ジュース類	円	本	円
8) つまみ物(人分盛り合せ)	円	盛	円
9) 接待要員	円	名	円
直会(親族を含め 名)			円
1) お弁当	円	個	円
2) ビール(中ビン)	円	本	円
3) ジュース類	円	本	円
4) つまみ物(人分盛り合せ)	円	盛	円
5) 接待要員	円	名	円
計			円

③

医師・救急隊員等の関係者へ

私 は医師・救急隊員等の関係者に多大なご迷惑をお掛け致しますがお許し願います。

医師・救急隊員等の関係者をお呼び致したのは、家族関係者が適切な医療行為の責任を問わないためです。

私 は、一切の心肺蘇生等の医療行為を希望しないし、その医療行為を固く断る。

その理由 年 月 時点 歳 月余の人生を過ごしました、因って、自然死を切望する。

私 は、自力で食べ物・飲み物等を飲み込みなかつた場合、注射・管等の機器を使った医療行為を希望しないし、その医療行為を固く断る。

その理由 年 月 時点 歳 月余の人生を過ごしました、因って、自然死を切望する。

私 は、上記の結果、痛み・食べ物等の要求に、本人・家族の者等、精神的苦痛等を与えることを避け、眠り薬・鎮痛剤を大量に与えて戴きたい。その結果死期が早まることを強く希望する。

年 月 日

(A氏が届けて下さった資料ですがこの表が全てではありません)

平成18年度下期の行事



初参式「園田夏希ちゃん」(平成18年10月21日)



報恩講(平成18年11月19日)



除夜会(平成18年12月31日)



修正会・新年会(平成19年1月4日)

編集部より

門信徒会員より原稿を随時募集致します。
400字前後の文章および、写真・イラストも歓迎致します。

心の窓を開く

ラジオ法座

FM三島函南 77.7MHz

毎週水曜日

お話/当山住職

朝7時45分(5分間)

●法話をまとめた小冊子第1~5巻が
発行されています。
お尋ねください。

編集後記

- ☆お寺からのお便りは、家族皆さん必ず読んで頂く習慣をつけましょう。
- ☆お寺は「よろず相談処」です。
日頃悩んでいる事がありましたら、何でもご相談ください。
- ☆次回寺報は、平成19年7月8日(日)発行予定です。

●ご意見・ご要望は、寺務所まで
〒411-0044三島市徳倉1195-817
TEL・FAX 055-988-3900
編集人=長島・菊沢・斉藤・園田